

令和5年1月13日

神奈川県知事 黒岩 祐治 様

神奈川県ボランティア活動推進基金審査会
会長 中島 智人

令和5年度実施分ボランティア団体成長支援の対象となる取組の
決定について（答申）

令和4年9月20日付け県サ第1149号をもって諮問のあった標記について、
別紙のとおり答申します。

(別紙)

令和5年度実施分ボランティア団体成長支援の対象となる取組の決定について

1 選考した事業

受付番号 5-5-2

団体名 特定非営利活動法人森ノオト

事業名 ボランティア団体の発信力UP支援事業

2 選考日

令和4年12月14日(水)

3 審査会のコメント

ボランティア団体の情報発信力の向上や広報課題の解決にとどまらず、広報活動を見直すことを通じて、団体の活動やあり方そのものを見直し組織基盤の整備につなげていくこと、また、団体が長く地域メディアとして活動してきた経験に基づく独自の提案であることを評価し、採択しました。

昨年度の提案では、情報発信等の充実がどのように団体の組織力向上や活動の発展につながっていくのかという点が十分に読み取れませんでした。今回の提案及びプレゼンテーションでは、広報という事業の一側面の課題解決ではなく、広報活動を見つめ直すことを手掛かりに、受益者や資金提供者等団体外との関係だけでなく、組織内への働きかけも含めた本質的な団体支援であることがよく分かりました。

他方で、名称を「発信力UP支援」としていることは、単に広報にまつわる課題解決を目的とした事業であると誤解される恐れがあることから、参加団体の募集においては、本事業の本来の目的が伝わるような名称としていただくことが望まれます。

また、事業終了後は、中間支援団体に本事業による知見やノウハウの移転を行うとのことですが、この事業が団体のこれまでの経験に基づく独自のものであることを考えれば、動画やテキストコンテンツを提供するだけでは中間支援

団体が容易に同様の支援ができるとは思われません。事業を進める中で、県内団体が継続して適切な支援を受けられるよう、団体の継続的な関与も含め、相応しい方法を探ってくださいを期待します。